



UNIVERSITY OF WISCONSIN RIVER FALLS

TRANSITION PROGRAM



WISCONSIN - UNITED STATES OF AMERICA

州立ウィスコンシン大学リバーフォールズ校
トランジッションプログラム
2007 年度 留学生募集要項書



トランジッションコースとは

4月から8月まで実施される約4.5ヶ月間のトランジッション・コースとは大学入学編入希望者の為の集中英語コースです。このコースは固定的な内容構成ではなく、流動的に変化し、各学生により構成内容が異なることがあります。

なぜか？  このコースの達成目標は、TOEFL 最低 500 点以上にあります。

★ESL (English as a Second Language) との違い

ESLは留学に必要な最低限の英語力を身につけるためのクラスです。その大学によってはTOEFL対策やアメリカについて学べる授業もありますが、ESLはあくまでも総合的英語力を伸ばすことを目的とした授業です。必ずしもTOEFLの伸びに直結するものではありません。しかし、このトランジッション・コースでは4.5ヶ月間の短期間でTOEFL500点クリアー（専攻により550点以上必要）という壁を破ることが、全てにおいて優先されます。授業内容についても、一定の手法で実績が上がらない場合には、指導方法そのものを変える場合もあります。

その目的達成の為にコースは次の通り構成されます。

Core Classes	TOEFL	TOEFL の練習問題を中心にグループ単位での指導。8月の時点で最低でも 500～550 点クリアーすることを前提にしています。
	Writing	文法的な特徴も理解しながら、レポートの書き方の基礎を学びます。
	Class Preparation (discussion/tutoring)	UWRF の学生が英会話の相手となり、会話力及びヒアリング力の養成。 授業運営方法・試験形態・宿題形式・評価方法などについての知識も UWRF の学生達から養うこともできます。
Extra Classes	Guest Speakers	ゲストスピーカーを招いてアメリカの大学や文化などについての知識を養います。
	Class Visitation	最初の学期に受講したいクラスの聴講。

留学制度の特徴について

高校卒業者にとって、

トランジッション・コースにより、TOEFL430～450 程度での正規留学を実現。
無理のない大学入学が可能。

短大卒及び四大一般教養課程修了者にとって、

トランジッション・コースにより、TOEFL430～450 程度での正規留学を実現。
無理のない大学入学を可能にするとともに、短大卒業者は一般教養課程が免除（60単位）され、残り60単位の専門課程を履修することで学士の取得を実現（四大教養課程修了者については取得科目による）。
また、特定のコースを専攻すれば 二年での卒業が可能。

四大卒業者にとって、

トランジッション・コースにより、TOEFL430～450 程度での正規留学を実現。
無理のない大学入学を可能にするとともに、四大卒業者は一般教養課程と専門課程の一部（90単位）が認められ、残り30単位の専門課程を履修することで学士の取得を実現。
また、特定のコースを専攻すれば 一年での卒業が可能。



<特徴> 出願時の英語力の条件が緩和

TOEFL最低基準 500 点以上という条件を本制度の学生に限り 450 点程度に緩和。但し、4月～8月までの「トランジッションコース」を受講することを条件とする。

<特徴> トランジッション・コース受講により学部への移行を円滑化

コースではTOEFLの対策や英語力の向上を目的とするだけでなく、論文の書き方や、ディスカッション指導、クラス内容などの指導も実することで学部への移行を円滑化。

<特徴> 短期間での学位取得が可能

日本国内の準学士号は一般教養課程（60単位）が免除され、残り60単位の専門課程を履修することで学士の取得を実現。学士号取得者は更に90単位が認められ、残り30単位の専門課程を履修することができ、短期間で学位取得の実現が可能。

<特徴> 州立大学なので比較的安価で留学

一般的な留学・編入学制度は通常の授業料などの他に各種の高額な取扱料や斡旋料がかかる場合があるが、本制度はそれらの経費が全く無く、通常の大学の授業料をそのまま適用する。

<特徴> サポートシステム

留学を成功させる上で「自立」が求められる為、その自立を支援する考えを前提としたサポートを実施。



UWRF について

University of Wisconsin River Falls は、ウィスコンシンシステムとして高名な University of Wisconsin の 13 校の一つで学部と大学院を持つ総合大学。 学生数約 5,800 名と比較的小規模なキャンパスであるため、日本からの留学生に対しても十分なケアができる支援態勢が整っています。 立地もミネソタ州最大の都市ミネアポリスから 50km に位置しています。

College of Agriculture Food and Environmental Sciences, College of Arts and Sciences, College of Business and Economics, College of Education and Professional Studies の 4 学部、40 を超える分野での専攻が可能です。 教員養成大学として設立されたということもあり教育学部は全米トップ 11 大学の一つにランキングされ、農業・食物・環境学部はトップ 3 大学の一つとして知られています。



リバーフォールズ (ウィスコンシン州)

環境について

人口約 12,500 人の町。 酪農が盛んでゆったりと生活をする人々。 だからこそ生活環境の充実をその特色とし、中でも教育環境の整備には特に力を入れている、豊かな自然に囲まれた町です。



専攻について

会計学、農企業、農業経済*、農業教育、技術工学、農業学、農業経営学、畜産学、人類学*、美術、アスレチックコーチング*、生物学、バイオテクノロジー、ビジネス、科学、障害コミュニケーション学、情報科学、刑事司法*、土壌学、ダンス教育学、幼児教育、地球科学*、経済学、小学校教育、英語、環境学、民族学*、農場経営学*、映画研究学*、食物科学、科学教育学、地理学、地質学、人間工学、健康教育学*、歴史学、園芸学、水文地質学*、国際学*、ジャーナリズム、土地利用計画学、マーケティングコミュニケーション、数学、言語学 (フランス語・ドイツ語・スペイン語)、音楽、ミュージカルシアター*、アウトドア教育*、哲学*、物理学、政治学、プロフェッショナルライティング*、心理学、中学校教育、社会学、ソーシャルワーク、スピーチコミュニケーション、TESOL、演劇、女性学 など

*は副専攻として学ぶことが出来ます。

編入学について

アメリカの大学では、日本の大学と比べると、ある大学から他の大学に籍を移すというトランスファー(編入学)が一般に行われています。また、日本の短大・大学・専門学校などから編入学することも可能です。例えば、アメリカの大学間の編入の際、二年制大学もしくは短大から四年制大学に編入する場合、その大学間で協定を結んでいれば単位の移行は比較的スムーズに行われます。

しかし、提携を結んでいない 四大・短大から他の大学へ編入したい場合、いくつかの単位を認定してもらえなかったりと、大学により移行できる単位数が異なってきます。同じく日本の短大・大学で取得した単位をアメリカの大学へ移行して編入する際も同じようなケースといえます。また、前もって単位の移行数を知ることは難しく、渡米後に決定されるというのが大きな特徴です。 (日米教育委員会より)

しかし、このトランジッションプログラムにおいて、短期大学卒業生(準学士号取得者)は一般教養課程(60単位)が免除され、残り60単位の専門課程を履修することで学士の取得を実現。四年制大学卒業生(学士号取得者)は更に90単位が認められ、残り30単位の専門課程を履修することができ、短期間で学位取得の実現が可能。



短期間で学位取得を希望するあなたへ

基本原則として短大卒業者は残り 60 単位、四大卒業者は残り 30 単位をUWRFで取得すれば学位を取得できることとなります。しかし、専攻によって異なる場合もありますので、留学の絶対条件が最短 1 年もしくは 2 年での学位取得であれば予め事務局にご相談下さい。

<学位取得可能既存履修過程 専攻例>

TESOL(Teaching English of Speaker of Other Languages)

英語力をつけ、将来英語を教えることが目的の人

(*但し、TESOL 専攻に限り TOEFL-PBT550 点以上が必要)

Professional & Organizational Communication

将来英語を生かした仕事に就くことを希望する人

Marketing Communication

将来英語を生かした仕事、特に営業職を希望する人

キャンパスライフ

リバーフォールズ校はキャンパス内に大学の施設と隣接して 9 つの寮が完備しており、クラスルームへ移動するにはとても便利な立地になっています。大学生活 2 年目を迎えるまでの学生全てが寮生活を送っていますし、多くの留学生も寮生活を送っています。リバーフォールズ校の男女比は 38% が男子学生、残りの 62% が女子学生。女子学生専用の寮も備えられていますので、安心してキャンパスライフを送ることが出来ます。寮には 24 時間利用できるコンピューター室を始め、ラウンジ、自習室、コインランドリー、キッチンなどが完備しています。学内の授業は学生の割合が 25~35 名程度で、学生と教授の割合は 19:1 となっており、大学院生やアシスタントを使つての授業は無く、教授自らが少人数制のクラスを行っています。学内では、130 種以上ものサークルやクラブが存在しており、バスケット、バレー、新体操、クロスカントリー、ゴルフ、アイスホッケー、ソフトボール、水泳、ロデオ、乗馬、サッカー、フットボールなどのスポーツも非常に盛んです。現在 UWRF には約 20 名 (2006 年 9 月現在) の日本人学生が在学しています。



UWRF の学習支援について

UWRF では、以下のような様々なプログラムや施設を設け、学生生活をスムーズかつ向上することが出来るように学部全体でサポートされています。

✚ Textbook Rental System <テキストレンタルシステム>

UWRF では、学部で必要なテキストは貸し出し制で行われています。(一部のテキスト・マテリアルは除く) そのレンタル代としては学費の一部からセメスター毎に \$ 59 が既に加算されており、年間でわずか \$ 108 のレンタル代で教科書を借りることかできるのです。

*通常、新品のテキストで 1 科目平均 \$50 前後。トータルで、最低でも \$200~\$250 程度セメスター毎に必要。

✚ Academic Success Center

Career Service: 卒業後の就職先、履歴書の作り方・添削、面接の練習、ビジネスの場での対応の仕方・プレゼンテーションの仕方など、就職に役立つ様々なことをサポートしてくれます。

Tutor System: 特に留学生にとっては助かるシステムで、簡単にいうと家庭教師システム。自分の不得意な教科に対して授業外で個人指導者を探してくれます。その指導者達は、以前にその教科を受け高い成績を収めた人達です。(全て無料のサービス)

✚ Writing Center

アメリカの大学教授は学生のレポート・エッセイの文法や文章内容には評価が厳しく、その間違いで評価が上がり下がりすることもあります。そこで、Writing Centerでは、自分の書いたレポートやエッセイを英語科専攻の学生が間違いや文章表現を添削してくれるシステムです。(すべて無料のサービス)

✚ International Program Office

留学生受付窓口にもなっているインターナショナルプログラムオフィスですが、留学生への相談・生活面など様々な点においてサポートしてくれる所です。また、International Student Associationというクラブも中心になって活動しており、UWRF内の留学生達が多数参加。定期的に集まりイベントの計画や、一日旅行などの楽しい計画を立てたりします。年に一度、International Bazaarを開き、各国の料理を作ったり、文化を紹介しながらキャンパス内の学生・教授・一般の人達と一緒に国際交流をはかるイベントも行っています。



インターナショナルオフィスで中心となってお世話をしてくれる Katie (左) と Brent (右)

✚ Tuition Waiver <学費減免制度>

UWRFでは、毎年数名の留学生に対し学費減免を行っています。条件は以下の通りです。

- UWRFに最低一年間フルタイムとして在学し、12単位取得済みであること
- 最低一年間のF-1 VISA (学生ビザ)があること
- 非公認の仕事をしていないこと
- 経済的援助が本当に必要な者 (入学当初より急激に自国の情勢が変わった・家族が学費支払い不可能になった等)
- 最低2.5以上のGPA(Grade Point Average)があること
- 学内・外で仕事を探した若しくは、学内で働いたが十分な資金を得ることができなかった
- 奨学金に申し込んだが、得ることができなかった
- 大学のキャンパス活動に積極的に参加し、文化交流促進に貢献した 等々

✚ Library/Computer Lab

図書館は平日朝7:45~夜11:00までと時間もとてもフレキシブルです。図書館の中には、コンピューター室が7部屋あり全てのコンピューターでインターネットのアクセスも可能。毎日多くの学生がリサーチやレポート作成のために訪れます。(すべて無料のサービス)

費用

トランジッション・コース費用(4月上旬~8月中旬)

*あくまでも概算です

授業料	寮費(二人部屋)	食費
\$6,500	\$1,300 程度	\$800 程度

概算総費用 $\$8,600.00 (\times \text{¥}120) = \text{¥}1,032,000$

*その他、日本からの航空片道運賃(成田発¥90,000程度'06年度実施)・UWRF留学生保険費用(一年間:\$826程度)・出願料(\$35)・寮補償料(\$125) が必要です。

トランジッションコース以降 UWRFの学費 (年間)

	Per Semester	Yearly Total
Tuition and Fees	\$6,601	\$13,202
Room	\$1,358	\$2,716
Meal (any 14 meals/week)	\$935	\$1,870
Educational Supplies/Books	\$100	\$100
Grand Total	\$8,994	\$17,888

- ☆ テキスト貸し出し料、施設費、インターネットアクセス料等は学費に含まれています。別途、個人のお小遣い等が必要になります。
- ☆ 上記学費は2006年度現在の料金です。各料金は学期ごとに多少の変更の可能性がります。
- ☆ 例えば、トランジッション・コースを含め、まる一年しか経済的に留学することができないという場合でも、問題ありません。再度条件がそろった時再留学が可能です。

出願条件

対 象

- ◆2007年3月又はそれ以前の高校卒業者（一年次入学対象者）
- ◆2007年3月又はそれ以前の短大卒業者及び一般教養課程修了者（三年次編入対象者）
- ◆2007年3月又はそれ以前の大学卒業者（四年次編入者対象者）
- ◆上記いずれかの項目に該当し、UWRFから学位取得を目的又は最低でも2007年4月から2007年12月まで学部在籍が可能なる者

条 件

- ◆2007年3月の時点でTOEFL430～450点程度の英語力
- ◆高校・短大・大学の成績が5段階評価の3.5相当以上
- ◆出席日数に特に問題のない者
- ◆心身ともに良好であること（身体に障害を持つ人を差別するものではありません）

出願方法

次の提出書類を締切までに提出して下さい。

提出書類

- ◆願書
- ◆成績証明書（英語）
- ◆英語能力証明書（TOEFLスコアシートコピー 正規又は模試でも可）
注意 正規・模試いずれのスコアもない場合は、事務局にその旨申し出下さい。
事務局指定の試験様式をお送りします。その解答用紙を添えて提出して下さい。
- ◆推薦状
（高校・短大・大学教諭又は出願者を良く知る第三者のもの・英文が望ましいが、日本語でも可）
- ◆選考料 5,000円（郵便小為替）

出願締切

第一次締切：2006年12月22日（金）

第二次締切：2007年1月26日（金）

定 員

15名（定員になり次第締切）

選考手順

提出書類受領 ⇒ 書類審査 ⇒ 面接 ⇒ 可否連絡

留学生の声・卒業後の進路

<留学生の声>



トランジションプログラムではTOEFL英語だけでなく、どのようにネイティブスピーカーの人と話すか、コミュニケーションをとるかなどアメリカで生活するにあたり欠かせないものを学びました。既に、9月からUWRFでの学生生活が始まり、焦らず落ち着いて講義を受けていられるのもトランジションプログラムのおかげです。

UWRFでは日本の大学で学べないものを学びたいと思っています。アメリカの大学生は授業にも積極的に質問・発言が多いので、私もそれに負けずに質問をし、授業に参加しています。今、TESOLを専攻しているので将来は日本に帰国し、中学・高校の英語教師として働きたいと思っています。また、学校だけでなくボランティア活動として幼児に英語を教えたいと思います。

出口 桃子(でぐち ももこ) 南九州短期大学を卒業後、2006年度トランジションプログラムを受講。同年9月にUWRFへ編入し、TESOLを専攻中。(写真右:出口さん)

<卒業後の進路>

1999年に始まったこのトランジションプログラム。現在までに受講した学生は87名で、うち58名の学生がUWRFを卒業しました。卒業後の進路先としては、日本へ帰国し教員採用試験を受験したり、大学で専攻したことを生かし一般企業へ就職したり、そのままアメリカに残り*OPT*を利用し、アメリカの企業で活躍している人達がいったりと様々です。

*OPT(Optional Practical Training)・・・留学生は休暇期間中や卒業後、最長12ヶ月のオプションプラクティカルトレーニングというプログラムが与えられ、その期間内であれば自分の希望する職種で実践的な経験を積むことが出来る。

University of Wisconsin River Falls 留学制度事務局 Guy Healy, Japan (ガ・ヒーリー・ジャパン)

<福岡>

〒811-1201 福岡県筑紫郡那珂川町片縄9-1,502
Tel:0120-065-061(フリーダイヤル) Fax:092-952-0140
担当:永石(ナガイシ)
E-mail address: tp_uwrf@guyhealyjapan.co.jp
URL: http://www.guyhealyjapan.co.jp

<University of Wisconsin River Falls>

International Program Office
105 Davee Library 410 S. Third St.
River Falls, WI 54022-5013
UWRF URL: http://www.uwrf.edu

University of Wisconsin River Falls – Transition Program Application Form

提出書類チェックリスト

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 願書 | <input type="checkbox"/> 成績証明書(英語) |
| <input type="checkbox"/> 英語能力証明書(コピー可) | <input type="checkbox"/> 推薦状(英文) |
| <input type="checkbox"/> 選考料(5,000円分の郵便為替) | |

企画名称	2007年 州立ウィスコンシン大学リバーフォールズ校 トランジションプログラム		
フリガナ		ローマ字名	
氏名			
生年月日	年 月 日 歳	性別	男 ・ 女
学校名 (現役のみ)	高校 / 短大 / 大学		学部 科 / コース
フリガナ			
住所	〒		
電話	() -	ファックス	() -
緊急連絡先		携帯	
Eメールアドレス		パスポートの有無	有 ・ 無
旅券番号		有効期限	

<上記住所と実家の住所異なる場合のみ記入>

フリガナ			
住所	〒		
電話	() -	ファックス	() -

<家族構成>

家族氏名	年齢	続柄



<質問>

① 卒業予定年度又は卒業年度 及び学校・学科・学部名			
年 卒業/卒業予定	高校/短大/大学	学部	学科/コース
② 入学/編入時の希望専攻分野			
③ 留学経験の有無		ない / ある	渡航時期: 国:
			渡航期間:
④ 国籍		⑤ 財政支援者	本人 / 親 / その他
⑥ 希望留学期間		卒業まで / 一年間 / その他:	
⑦ 卒業又は留学終了後の進路計画			

受付日 _____ 月 _____ 日 正式書類発送日 _____ 月 _____ 日 最終入金確認日 _____ 月 _____ 日

本留学制度出願理由を英語で明記して下さい。

本人署名 印

保護者署名 印

<願書受付日> 年 月 日

<結果通知日> 年 月 日

<結果> 合格 / 補欠 / 不合格